

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地歴 科目 歴史総合

教科：地歴 科目：歴史総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組

教科担当者：（1組：清水）

使用教科書：（山川出版社 『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える』）

教科 地歴	の目標：
【知識及び技能】	社会的事象の歴史的な見方・考え方を身に付け、諸資料から課題を追究したり解決したりする活動を通して、情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、諸資料から課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会について主体的に考察し、表現する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】	主体的に社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養おうとする態度を身につける。

科目 歴史総合	の目標：
【知識及び技能】	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、効果的に説明したり、それらに基づき議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当 時数
1 学期	A 結びつく世界と日本の開国 【知識及び技能】 18世紀の中国及び日本の発展とヨーロッパとのつながりを理解する。また、イギリスで産業革命が起こった背景とその後の世界への影響について、資料から読み解き、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 18世紀の中国及び日本の発展とヨーロッパとの関連性や産業革命の背景、その後の世界への影響について、資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 18世紀の中国及び日本の発展とヨーロッパとの関連性や産業革命の背景、その後の世界への影響について、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。	・指導事項 1. 18世紀の東アジアにおける社会と経済 2. 貿易が生んだ日本 3. 産業革命 4. 中国の開港と日本の開国 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言				8
	定期考査			○	○	○	1
	B 国民国家と明治維新 【知識及び技能】 市民革命後に世界各国で国民国家が形成される歴史的展開やその背景についての知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 市民革命後に世界各国で国民国家が形成される歴史的展開やその背景について考察し、文章でまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 市民革命後に世界各国で国民国家が形成される歴史的展開やその背景について主体的に学び、探究しようとする態度を養う。	・指導事項 1. 市民革命 2. 国民国家とナショナリズム 3. 明治維新 4. 日本の産業革命 5. 帝国主義 6. 変容する東アジアの国際秩序 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言				12
定期考査			○	○		1	
2 学期	C 総力戦と社会運動 【知識及び技能】 第一次世界大戦の展開や勃発の背景及びその後の世界への影響、日本と世界の関わりについて適切な知識を身に付け、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の展開や勃発の背景及びその後の世界への影響、日本と世界の関わりについて、資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦の展開や勃発の背景及びその後の世界への影響、日本と世界の関わりについて、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。	・指導事項 1. 第一次世界大戦 2. フロント連邦の成立 3. ヴェルサイユ体制とワシントン体制 4. 世界経済の変容と日本 5. アジアのナショナリズム 6. 大正デモクラシー 7. 消費社会と大衆文化 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言				12
	定期考査			○	○		1
	D 経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 第二次世界大戦と第一次世界大戦後の社会との関連性、第二次世界大戦の歴史的展開や勃発の背景及びその後の世界への影響、日本と世界の関わりについて適切な知識を身に付け、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦と第一次世界大戦後の社会との関連性、第二次世界大戦の歴史的展開や勃発の背景及びその後の世界への影響、日本と世界の関わりについて、資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦と第一次世界大戦後の社会との関連性、第二次世界大戦の歴史的展開や勃発の背景及びその後の世界への影響、日本と世界の関わりについて、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。	・指導事項 1. 世界恐慌 2. ファシズムと共産主義 3. 日中戦争 4. 第二次世界大戦 5. 占領と戦後改革 6. 冷戦の始まりと東アジア諸国の動向 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言				12
定期考査			○	○		1	

	<p>E 冷戦と世界経済 【知識及び技能】 東西冷戦の歴史的展開や背景、高度経済成長期の日本と世界のつながりを理解する。また、冷戦が現在の国際情勢に及ぼした影響について、資料から読み解き、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 東西冷戦の歴史的展開や背景、現在の国際情勢に及ぼした影響、高度経済成長期の日本と世界のつながりについて、資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 東西冷戦の歴史的展開や背景、現在の国際情勢に及ぼした影響、高度経済成長期の日本と世界のつながりについて、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。</p>	<p>・指導事項 1. 冷戦下の地域紛争 2. 軍拡競争から緊張緩和へ 3. 世界各地の地域連携の形成 4. 計画経済とその波及 5. 日本の高度経済成長 6. アジアの中の戦後日本</p> <p>・教材 授業プリント</p>	<p>【知識・技能】 定期テスト、ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言</p>	○	○	○	12
3 学 期	<p>F 世界秩序の変容と日本 【知識及び技能】 石油危機の世界に及ぼした影響やソ連の崩壊と冷戦の終結の歴史的展開及びその背景、アジア、アフリカ、ラテンアメリカ諸国の民主化や経済発展の過程についての知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 石油危機の世界に及ぼした影響やソ連の崩壊と冷戦の終結の歴史的展開及びその背景、アジア、アフリカ、ラテンアメリカ諸国の民主化や経済発展の過程について考察し、文章でまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 石油危機の世界に及ぼした影響やソ連の崩壊と冷戦の終結の歴史的展開及びその背景、アジア、アフリカ、ラテンアメリカ諸国の民主化や経済発展の過程について主体的に学び、探究しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 1. 石油危機 2. アジア諸地域の経済発展 3. 市場開放と経済の自由化 4. IT革命とグローバルゼーション 5. 冷戦の終結とソ連の崩壊 6. EUの成立</p> <p>・教材 授業プリント</p>	<p>【知識・技能】 定期テスト、ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

地歴 科目 地理総合

教科： 地歴 科目： 地理総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（1 組：清水）

使用教科書：（ 帝国書院『高等学校 新地理総合』 ）

教科 地歴

の目標：

【知識及び技能】

社会的事象の歴史的な見方・考え方に関する知識を身に付け、諸資料から課題を追及したり解決したりする活動を通して、情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、諸資料から課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会について主体的に考察し、表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】

主体的に社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養おうとする態度を身に付ける。

科目 地理総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係などに関連付けて理解する。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、多面的・多角的に考察する。地理的な課題の解決に向けて構想したりした	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
A 地図でとらえる現代世界 【知識及び技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	1 地球上の位置と私たちの生活 2 時差と私たちの生活 3 地球儀と地図 4 身の回りの地図 5 統計地図の種類と利用 6 地理情報システム（GIS）の活用	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言				11	
	定期考査			○	○		1
	A 地図でとらえる現代世界 【知識及び技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	1 現代世界の国家 2 日本の位置や領域 3 国家間の結び付き 4 貿易によって結び付く世界 5 さまざまな交通網の発達 6 世界を結ぶ通信網の発達 7 観光のグローバル化	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言				11
定期考査			○	○		1	
B 国際理解と国際協力 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。また、地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	1 大地形と人々の生活 2 変動帯と人々の生活 3 安定地域と人々の生活 4 河川がつくる地形と人々の生活 5 海岸の地形と人々の生活 6 氷河・乾燥・カルスト地形と人々の生活 7 気温・降水と人々の生活 8 大気循環と人々の生活 9 世界の植生と気候区分 10 熱帯の生活 11 乾燥帯の生活 12 温帯の生活 13 亜寒帯・寒帯の生活	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言				14	
	定期考査			○	○		1
	B 国際理解と国際協力 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。また、地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	1 世界の言語と人々の生活文化 2 世界の宗教と人々の生活文化 3 人々の生活を支える農業の発展 4 人々の生活を支える工業の発展 5 多様な地球環境問題 6 熱帯林の破壊への対策 7 地球温暖化への対策 8 世界のエネルギー・鉱産資源 9 エネルギー利用の現状と課題 10 地域で異なるエネルギー問題への取り組み	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言				14
定期考査			○	○		1	

3 学 期	B 国際理解と国際協力 【知識及び技能】 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 【思考力・判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】	1 地震・津波による災害 2 地震・津波の被災地の取り組み 3 火山の恵みと災害 4 火山と共生する地域の取り組み 5 さまざまな気象災害 6 気象災害への取り組み 7 減災の取り組み 8 被災地への支援	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

合計
70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2 学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（1 組：高橋）

使用教科書：（ 浜島書店『最新図説 公共』 ）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 社会的な見方・考え方を身につけ、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について事実を基に多面的・多角的に考察したり公正に判断したりする力や議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い国民主権を担う公民としての自覚を深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択判断のための手掛かりとなるあま年・理論を理解し、諸資料から権王な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実をもとに多面的、多角的に考察し確信に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力しあうことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1. 公共の扉 【知識・技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通じて自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 ・人間は自個人として尊重されるべき存在であるとともに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	指導項目・内容 第1章社会を作る私たち 1. 青年期とは 2. 自己形成の課題	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	4
		指導項目・内容 1. 職業生活と社会参加 2. 伝統文化と私たち	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	1. 公共の扉 【知識・技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通じて自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 ・人間は自個人として尊重されるべき存在であるとともに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	指導項目・内容 第2章人間としてよく生きる 1. 古代ギリシアの人間観 2. 科学と人間 3. 自由の実現 4. 社会を作る人間 第3章他者とともにに生きる 1. 人間と幸福 2. 公正な社会をめざして	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	7
	指導項目・内容 第4章民主社会の倫理 1. 自由・権利と責任・義務 2. 民主政治の成立と基本原理 3. 民主政治のしくみと課題 4. 世界の政治制度	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	6	
定期考査			○	○		1	

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

地歴

科目 日本史探究

教科：地歴

科目：日本史探究

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（1組：高橋）

使用教科書：山川出版社 『詳説 日本史』

教科 地歴

の目標：

【知識及び技能】

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的・世界的でき事と関連付けながら諸資料から様々な情報を調べまとめる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

我が国の歴史の展開に関わる諸事象の意味や伝統・文化などの特色を多面的・多角的に考察したり解決を視野にいれて構想したりそれらをもとに議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

我が国の歴史の展開に関わる諸事象についてよりよい社会の実現を視野にいれ探求しようとする態度を養うとともに日本国民としての自覚や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚を深める。

科目 日本史探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、次期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられ課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察したころを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	1. 日本文化のあけぼの 【知識・技能】日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容、水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えられた影響について、自然環境の変化や大陸の影響に着目して理解させる。 【思考・判断・表現】考古資料をもとに集落・風習・食生活などをふまえて、旧石器文化・縄文文化の社会や、小国の形成から環濠集落、武器の出現、文献資料にもとづき多角的に考察した結果を根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】黎明期の日本列島の歴史的環境と文化や農耕社会の特色とともに、国家の形成につながるような社会構造の変化について考察することを通じて旧石器文化、縄文文化弥生文化の特色を明らかにしようとしている。	指導項目・内容 1. 文化のはじまり 2. 農耕社会の成立	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	4
	定期試験			○	○		1
	2. 律令国家の形成【知識・技能】飛鳥時代の政権運営や文化の特色について大陸や朝鮮半島との関係について着目して理解している。隋・唐などの東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程を理解している。藤原氏の権力掌握過程を資料から読み取り律令体制の変容の観点から撰閣政治を理解している。 【思考・判断・表現】仏教の受容、遣隋使派遣など大陸との交流、律令体制整備の過程、藤原氏を中核とする政治抗争の進展、土地制度の変容などのつながりを関連付けて考察し根拠を示して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して推古朝政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。	指導項目・内容 1. 飛鳥の朝廷 2. 律令国家への道 3. 平城京の時代	【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】授業中の発言、ワークシートへのメモ	○	○	○	7
	定期試験			○	○		6
	定期試験			○	○		1

2 学 期	<p>3. 貴族政治の展開【知識・技能】 大陸からの文物の定着を前提として平安時代により日本の風土にあった文化が形成されたこと、地方の諸勢力の成長と影響により貴族政治や土地制度が変容し新勢力が台頭してきたことを理解している。 【思考・判断・表現】 国際関係の変化や遣唐使の廃止などから信仰の変容、かな文字など国風文化の発達を考察し、表現している。文献資料を活用し国司の変容、公領、荘園の発達などから地方支配の状況を考え武士の台頭の根拠を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 平安時代の政治のあり方と文化の関係についてつながりを見出そうとしている。徴税方式や地方の豪族や武力を持った勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。</p>	<p>指導項目・内容 1. 摂関政治 2. 国風文化 3. 地方政治の天下と武士</p>	<p>【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】授業中の発言、ワークシートへのメモ</p>	○	○	○	6
	<p>定期試験</p>			○	○		1
	<p>4. 武家政権の成立 【知識・技能】 宋・元などユーラシアとの交流に着目しモンゴル襲来の国際的背景や国内政治への影響について理解している。諸資料から公武関係の変化、鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移、諸産業や流通により地域経済が成長したこと、庶民の台頭や戦国大名の台頭を理解できる。 【思考・判断・表現】 宋・元などユーラシアとの交流、南北朝の動乱などにみられる政治・経済基盤をめぐる対立や国際情勢の変化を多面的・多角的に考察し表現できる。戦国大名の台頭から領国経営の特色や社会の変化を多面的・多角的にとらえ表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 宋・元などユーラシアとの交流や経済・文化への影響について、主体的に追究しようとしている。武家政権の変容や国際情勢の変化に着目して諸資料を利用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。</p>	<p>指導項目・内容 1. 武士の社会 2. モンゴルの来襲と幕府の衰退 3. 鎌倉文化 4. 室町幕府の成立</p>	<p>【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】授業中の発言、ワークシートへのメモ</p>	○	○	○	6
	<p>5. 近世の幕開け 【知識・技能】織豊政権の特色を理解し、外国との交流による文化の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】織豊政権の諸政策の目的や支配制度について具体的な根拠を示して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 時代の転換に着目して中世から近世の国家社会の変容を考察し時代を通観する問いを表現しようとしている。</p>	<p>指導項目・内容 1. 織豊政権 2. 桃山文化</p>	<p>【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】授業中の発言、ワークシートへのメモ</p>	○	○	○	4
	<p>定期試験</p>			○	○		1
	3 学 期	<p>6. 幕藩体制の成立と展開 【知識・技能】アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から織豊時代と幕藩体制の類似や相違、江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解している。 【思考・判断・表現】 織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や新たな支配制度のもとにおける人々の生活の具体相について根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 時代の転換に着目して、中世から近世の国家社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。幕藩体制が安定していく中で幕府の諸政策がもたらした暮らしへの影響について主体的に追究しようとしている。</p>	<p>指導項目・内容 1. 幕藩体制の成立 2. 幕藩社会の構造 3. 幕政の安定 4. 経済の発展</p>	<p>【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】授業中の発言、ワークシートへのメモ</p>	○	○	○
<p>7. 幕藩体制の動揺 【知識・技能】 幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしなどの資料から享保の改革や田沼時代の諸政策の意義や幕藩体制下の社会の変化、列強の接近にもなる事件や政策への影響などの資料から幕藩体制の衰退の実情を理解している。 【思想・判断・表現】 農業事情の変化、貨幣経済の浸透により米作を基本とする幕藩体制が動揺する過程、国際情勢の変化と影響に着目して幕藩と諸藩の動向について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。</p>		<p>指導項目・内容 1. 元禄文化 2. 幕政の改革 3. 宝暦・天明期の文化</p>	<p>【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】授業中の発言、ワークシートへのメモ</p>	○	○	○	6
<p>定期試験</p>		<p>指導項目・内容 1. 幕府の衰退と近代への道 2. 化政文化</p>	<p>【知識・技能】定期考査、ワークシートの問題 【思考・判断・表現】ワークシートの記述</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】授業中の発言、ワークシートへのメモ</p>	○	○	○	4
<p>定期試験</p>				○	○		1
合計							70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

地歴 科目 世界史探究

教科：地歴

科目：世界史探究

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（1組：清水）

使用教科書：（山川出版社『詳説世界史』）

教科 地歴

の目標：

【知識及び技能】

社会的事象の歴史的な見方・考え方にに関する知識を身に付け、諸資料から課題を追及したり解決したりする活動を通して、情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、諸資料から課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会について主体的に考察し、表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】

主体的に社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養おうとする態度を身に付ける。

科目 世界史探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察涵蓋される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 文明の成立と古代文明の特質 【知識及び技能】 文明成立の背景と古代文明の特質について理解している。また、その後の世界に及ぼした影響について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文明成立の背景と古代文明の特質について、各地域の地理的条件や政治・宗教に関する資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 文明成立の背景と古代文明の特質、その後の世界に及ぼした影響について、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。	・指導事項 1. 文明の誕生 2. 古代オリエントとその周辺 3. 南アジアの古代文明 4. 中国の古代文明 5. 南北アメリカ文明	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B 中央ユーラシアと東アジア世界 【知識及び技能】 秦、漢、唐が発展した背景と歴史的展開及び周辺民族との関係性について資料から読み解き、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 秦、漢、唐が発展した背景と歴史的展開及び周辺民族との関係性について、資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 秦、漢、唐が発展した背景と歴史的展開及び周辺民族との関係性について、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。	・指導事項 1. 草原とオアシスの世界 2. 秦、漢帝国 3. 中国の動乱と変容 4. 東アジア文化圏の形成	【知識・技能】 定期テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>C 南アジア・西アジア・東南アジア世界の展開と地中海周辺の国家形成</p> <p>【知識及び技能】 宗教と国家の関係性、ギリシアの諸ポリスやローマ帝国が繁栄した背景、その後の世界に及ぼした影響について、資料から読み解き、理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 宗教と国家の関係性、ギリシアの諸ポリスやローマ帝国が繁栄した背景、その後の世界に及ぼした影響について、資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 宗教と国家の関係性、ギリシアの諸ポリスやローマ帝国が繁栄した背景、その後の世界に及ぼした影響について、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。</p>	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 仏教の成立と南アジアの統一国家 2. インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3. 東南アジア世界の形成と展開 4. イラン諸国家の興亡とイラン文明 5. ギリシア人の都市国家 6. ローマと地中海支配 7. キリスト教の成立と発展 	<p>【知識・技能】 定期テスト、ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	<p>D イスラーム教の成立・拡大とヨーロッパ世界の形成</p> <p>【知識及び技能】 イスラーム教成立の歴史的展開やイスラーム勢力拡大の背景、中世の西ヨーロッパとビザンツ帝国の関係性について、資料から読み解き、理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 イスラーム教成立の歴史的展開やイスラーム勢力拡大の背景、中世の西ヨーロッパとビザンツ帝国の関係性について、資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 イスラーム教成立の歴史的展開やイスラーム勢力拡大の背景、中世の西ヨーロッパとビザンツ帝国の関係性について、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。</p>	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2. ヨーロッパ世界の形成 3. イスラーム教の諸地域への伝播 4. 西アジアの動向 	<p>【知識・技能】 定期テスト、ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言</p>	○	○	○	9
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>E ヨーロッパ世界の変容と展開</p> <p>【知識及び技能】 中世ヨーロッパ世界におけるキリスト教の重要性と中世ヨーロッパ社会が崩壊する背景について、資料から読み解き、理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 中世ヨーロッパ世界におけるキリスト教の重要性と中世ヨーロッパ社会が崩壊する背景について、十字軍遠征や百年戦争と関連付けて多角的に考察し、説明したり、文章にまとめることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 中世ヨーロッパ世界におけるキリスト教の重要性と中世ヨーロッパ社会が崩壊する背景について、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。</p>	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 西ヨーロッパの封建社会とその展開 2. 東ヨーロッパ世界の展開 3. 西ヨーロッパ世界の変容 4. 西ヨーロッパの中世文化 	<p>【知識・技能】 定期テスト、ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言</p>	○	○	○	10
	<p>F 東アジア世界の展開とモンゴル帝国、アジア諸帝国の繁栄</p> <p>【知識及び技能】 中華の地域で宋、モンゴル帝国、明、清が繁栄した背景とそれぞれの歴史的展開やオスマン帝国、サファヴィー朝、ムガル帝国の相互の関係性について、資料から読み解き、理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 中華の地域で宋、モンゴル帝国、明、清が繁栄した背景とそれぞれの歴史的展開やオスマン帝国、サファヴィー朝、ムガル帝国の相互の関係性について、資料から多角的に考察し、説明したり、文章にまとめることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 中華の地域で宋、モンゴル帝国、明、清が繁栄した背景とそれぞれの歴史的展開やオスマン帝国、サファヴィー朝、ムガル帝国の相互の関係性について、主体的に考察し、情報を整理し、積極的に意見を述べる。</p>	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アジア諸地域の自立化と宋 2. モンゴルの大帝国 3. アジア交易世界の興隆 4. オスマン帝国とサファヴィー朝 5. ムガル帝国の興隆 6. 清代の中国と隣接諸地域 	<p>【知識・技能】 定期テスト、ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシートの問題、定期考査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートのメモ、授業中の発言</p>	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	

合計
70

新島高校 令和5年度 日本史BⅡ 年間授業計画

教科:(地理歴史)科目:(日本史B) 対象:(第3学年1組) 単位数:(2)

教科担当者:(1組: 高橋 ⑩)

使用教科書:『詳説日本史 日本史B』(山川出版社)

使用教材:『新詳日本史』(浜島書店)

指導内容 【年間授業計画】	科目「日本史B（必選）」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
日本の時代順	日本の時代順について、旧石器時代から現在まで確認をする。またその時代の代表的な人物・事件・文化についても復習する。	考査・小テスト・提出物	2
			2
江戸はなんで繁栄したか	テーマ別に江戸の街の繁栄の秘密をさぐる		1

	指導内容 【年間授業計画】	科目「日本史B（必選）」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
5 月	気候条件などと歴史的事実の関係	古墳時代の文化的特徴、中国や朝鮮からみた日本の実態、権力構造などの仕組みを理解する。	予習・提出物	2
	感染症の歴史	コロリの歴史と新島での過去の事実を調べる中で、感染症の歴史が暮らしに与える影響を理解する。		2
			小テスト・提出物	

	指導内容 【年間授業計画】	科目「日本史B（必選）」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
6 月	江戸時代の暮らし	江戸時代の物価、労働と賃金などを調べて社会の状況を理解する。	予習・提出物	1
	忠臣蔵とは？	忠臣蔵とはどのような事件だったのか、忠臣蔵が後日、江戸時代の風俗に及ぼした影響を調べて、庶民の暮らしと江戸時代の庶民の常識を理解する。		2
			小テスト・提出物	
				1
				2

指導内容 【年間授業計画】	科目「日本史B（必選）」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
田沼政治を調べよう	重商主義が江戸時代の政治に位置づかなかった理由を田沼時代の政治を調べる中で明らかにしていく。	予習・提出物	2
論文づくり 自発的に課題を見つける。	自分で、歴史上の問題からテーマを見つけて、論文にまとめていく。		
		小テスト 提出物	

指導内容 【年間授業計画】	科目「日本史B（必選）」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
論文づくり 自発的に課題を見つける。	7月にまとめた論文を全体の中で発表する中で、課題や問題点を確認する。	予習・提出物	2
論文づくり 自発的に課題を見つける。	7月にまとめた論文を全体の中で発表する中で、課題や問題点を確認する。		1
鳥羽伏見の戦い	幕末の情勢の理解の中で、なぜ幕府軍が、新政府軍に敗れたのかを仮説的に検討していく。	小テスト 提出物	2
			1

9
月

	指導内容 【年間授業計画】	科目「日本史B（必選）」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
10 月	全体主義とは？	資本主義、社会主義、全体主義を対比検討する中で、その違いを理解する。 全体主義と軍国主義などの共通性と違いを資料を比較する中で検討していく。	予習・提出物	1
	全体主義とヒトラー	全体主義の中で、ナチスの全体主義について調べる。その上で、ナチスの全体主義にヒトラーが果たした役割を理解する。		2
			小テスト 提出物 テスト	
				1
				2

	指導内容 【年間授業計画】	科目「日本史B（必選）」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
11 月	女性天皇の歴史	日本の歴史の中で、歴代の女性天皇について調べる。それぞれ、どのような特徴があったのか当時の政治状況と合わせて検討していく。	予習・提出物	1
	憲法制定の過程を大日本国帝国憲法と日本国憲法を比べる中で、比較的に理解していく。	日本の近代憲法としての二つの憲法の特徴を比較する中でその違いや共通性を理解する。		2
			小テスト 提出物 テスト	2
				1
				2

	指導内容 【年間授業計画】	科目「日本史B（必選）」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
12 月	守護大名から戦国大名の誕生まで	室町時代の地方の暮らしと守護大名・戦国大名の役割について理解させる	予習・提出物	2
			小テスト 提出物	
	11			

	指導内容 【年間授業計画】	科目「日本史B（必選）」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 月	論文づくり 自発的に課題を見つける。	自分で、歴史上の問題からテーマを見つけて、論文にまとめていく。	予習・提出物	2
	論文づくり 自発的に課題を見つける。	7月にまとめた論文を全体の中で発表する中で、課題や問題点を確認する。		2
			小テスト 提出物 テスト	1
				1
				1

	指導内容 【年間授業計画】	科目「日本史B（必選）」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
2 月				3

	指導内容 【年間授業計画】	科目「日本史B（必選）」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
3 月				